



高松市で15日、農業問題に詳しい小松泰信・岡山大学名誉教授と日本共産党の白川よう子参院比例予定候補、地元の農家らを迎えて「食と農の希望をきりひろく

「食と農のつどい」開く 白川・長尾予定候補が訴え

く集い」が開かれました。党香川県委員会主催。会場は240人の党内外の参加者でいっぱいになり、三分の一は主に若手の農業関係者でした。

現場からの報告として、従業員8人で米などを大規模に作るさぬき市の谷本晃さん(81)は、減反を続け、米不足を招いた自民党農政を批判し、「子どもたちがご飯をおかわりできる政治にしなければ」と強調。高松市で無農薬米などを作る末澤拓朗さん(47)は、増える耕作放棄地を少しずつ田んぼにしているとし「仲間や販路を増やし、経営を安定させたい」と述べました。消費者の女



性

ご参加下さい



22日の午前11時から、高松市のコトデン瓦町駅前で開催される日本共産党演説会の魅力を中谷浩一県委員長に聞きました。

「一番の魅力は、今の国政で日本共産党が果たしている大事な役割をリアルに聞けることです。衆議院で自公が少数となり、維新の会や国民民主党に助けられながらも、日本共産党と国民の声に押されて、今までの国会ではなかったような変化が生まれています。

消費税の減税や、トランプ氏のアメリカにきつぱりとした態度を求める日本共産党の主張が、多くの国民の心をとらえ、国会でも大きな焦点になっていきます。減税のために、大企業や富裕層に応分の負担をという

政策も、かなり共感が広がっています。また自公政権が好き放題でなくなっています。たとえば高額医療費の上限額の引き上げを断念させ、企業団体献金の禁止が国会の熱い議論となり選択的夫婦別姓制度が28年ぶりに国会で審議されました。

今度の参院選でも、共産党の躍進で自公を少数に追い込めば、いっそう自公政治は追いつめられるに違いありません。

演説会の弁士Ⅱ穀田恵二さんは、元国会議員で、党中央の幹部として国政問題をリアルに伝え、自公政治の変革のためにも日本共産党が大きくなる必要があることをわかりやすく語ってくれます。そして、西日本を駆けめぐっている白川よう子さんの訴えを聞けば、頑張る決意が湧き上がってくるはずですよ。またフレッシュな香川選挙区予定候補長尾まさきさんは、自民党政治に立ち向かう県内唯一の候補者として挨拶します。参院選挙は7月3日公示、20日投票です。多くの方にご参加いただきたいと思います。

郷土辞典「笠居郷探訪」(一部抜粋) 桃太郎伝説

著者 立山信浩

もとは昔話であつた桃太郎の話に、具体的な地名や人物名、時代などを添えて伝説化したもの。いわゆる「昔話の伝説化」の典型。桃太郎伝説は、岡山(吉備津神社)、岐阜(犬山)などにもあるが、高松の桃太郎伝説は、女木島の大洞窟を発見した鬼無尋常高等小学校長橋本仙太郎によって伝説上の名前と現在の地名を結び付けた物語にまとめられ、国定教科書にも掲載されて全国的に有名になった。

橋本仙太郎は、昭和5年(1930)11月「童話桃太郎発祥地は讃岐の鬼無」を四国民報に発表、昭和6年(1931)8月23日女木島洞窟(石切場の跡地)を発見、翌昭和7年(1932)10月「鬼無傳説桃太郎さん鬼ヶ島征伐」を発行した。同書の復刻版が平成18(2006)年3月に高松市歴史資料館友の会から発行された。昭和57(1982)年1月、町おこしの

ため第1回鬼無桃太郎まつり開催。

※ 鬼無町では、桃太郎神社(熊野権現神社)以後も、鬼無桃太郎駅(JR鬼無駅の愛称)、四国桃太郎駅(高松貨物ターミナル駅)桃太郎踏切など桃太郎伝説の地であることを示す命名が現在も続けられている。

『お爺さんが芝刈りに行ったのが芝山。お婆さんが洗濯に行ったのが本津川。二人が子供を授かるようにと祈ったのは赤子谷。ある日お婆さんが洗濯していた本津川に桃が流れてきて、その桃の中から男の子が生まれて、桃太郎と名付けた。当時、瀬戸の海には鬼と恐れられていた海賊が横行し、中でも鬼ヶ島はその本拠地。桃太郎は犬、猿、雉と共に鬼退治に出る。犬は岡山県犬島の人々、猿は綾南町猿王の、雉は鬼無町雉が谷の人々である。鬼退治の出発は、生島灣。ここに大きな泉が湧いていて、水の乏し

鬼谷台太鼓

広島原爆投下後に降った「黒い雨」の「増田雨域」を発表した気象学者の増田善信さんが9日死去した。気象庁気象研究所勤務時に「台風の進路予報に関する数値的研究」により東京大学で理学博士を取得する傍ら、25歳で日本共産党に入党し赤旗の配達をはじめ、読者を増やすことは最後まで活動した。増田さんの提案により掲載された「高層天気図」は、登山前の行動計画時に大変役立った。

白川候補の魅力と決意があふれた「女性の集い」

15日、「よう子を何としても国政へ送る会」と日本共産党女性後援会は共催で「GO!GO!よう子・よう子と変える私の未来」と題するつどいを開きました。

つどいでは党派を超えて応援のメッセージが寄せられ、会場に駆け付けた人からは「いつも当事者に寄り添い、包み込むような優し



さの持ち主、それでいて、決して軸のブレない強い意思貫く白川さんは今のブレブレな国会に必要な人」「『生きること、幸せになることをあきらめなくていい』(2面につづく)

い鬼ヶ島から鬼の子分が水汲みに来る。その鬼を鬼待ち(おにまち・鬼松)で捕まえた桃太郎たちは、鬼ヶ島への道案内をさせてこの浜を船で出る。この浜が鬼出し(木出し)浜。大合戦の末に鬼を打ち破り宝物を土産に中津の浜戻った桃太郎たちを、体勢を立て直した鬼たちが本津川で待ち受けて再び合戦。桃太郎が近郷の娘たちを避難させた急峻な山が娘(六目)山。急いで走らせた使いの者に弓矢を持ってこさせて応戦。この弓矢を作っていたのが中間(なかつま)町の竹藪。このとき死んだ弓矢作り達の墓が今の弓塚、矢塚。威嚇のために弓の弦を鳴らしたのが弦打、弦打山。鬼たちはついに敗れ、その屍を埋めたところが鬼塚。鬼がいなくなったこの土地を鬼無と名付け、背後には勝利を祝った勝負山がそびえている……という話』



常に科学的見知から「真実」を追求し続けた増田さんの志を羅針盤としたい。(ち)